



平成 31 年 1 月 25 日
石原かがやきこども園
体調不良児保育
担当: 鈴木・青木

2月3日は節分です。子ども達の「鬼は外！福は内！」の元気な豆まきの声が聞こえてきます。子ども達の中にいるウイルスや細菌が全てからだの外に出て行きますように。そして成長とともに子どもたちが丈夫で健康な体になるように祈っています。



インフルエンザが大流行

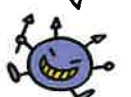
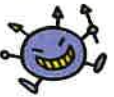


1月16日に群馬県にインフルエンザ警報が発令されました。園でも昨年末から数名感染者が出ています。例年1月下旬から感染者数が増加します。この時期、人ごみへの外出はなるべく避けるようにしましょう。また、発熱して医療機関を受診しても、インフルエンザか、単なる風邪なのかがすぐには診断できない場合があります。受診した翌日は、ご自宅で様子を見ていただいたほうがよいと思います。インフルエンザにかかった場合は、医師の許可が出るまでは「登園禁止」となります。かからないためにも、家に帰ったら、うがいと石鹸を使った手洗いを心がけましょう。

もし、かかってしまったら・・・

インフルエンザと医師に診断されたら、園に連絡をお願いします。A型・B型の判定もわかりましたらお知らせください。

出席停止(治療証明書)の通知が園にありますので、治ったら医師に「治療証明書」を書いてもらい登園時に提出をお願いいたします。出席停止(治療証明書)の用紙は園のホームページからもダウンロードできます。医療機関に持参してください。



せきエチケットについて



せきエチケットは、ウイルスを人に移さないという意識が大切です。せきによるウイルスの飛沫は2~3mといわれています。せきが出る場合は人込みを出歩かないようにしたいものですが、やむを得ず外出するときはマスクをしてウイルスの拡散を防ぎましょう。マスクをしていない時はティッシュやハンカチで口と鼻を覆います。使ったマスクやティッシュは蓋のあるゴミ箱に捨て、手も石鹸でよく洗いましょう。

子どもの花粉症について

間もなく花粉症のシーズンがきます。花粉症の症状といえば鼻水、鼻づまり、目のかゆみ、くしゃみが主な症状です。中でも子どもの場合は、鼻づまりと目のかゆみに現れることが多いようです。鼻づまりは見た目ではわかりにくいので、口呼吸が多くなっていないか観察しましょう。また、目の症状として充血したり目がむくんだりすることもあります。花粉症の症状はかぜの症状にも似ているので、気になる症状が現れたら早めに受診するようにしましょう。

今月の感染症情報 (1月4日~1月22日現在)

インフルエンザ 18人 【インフルエンザA型8人・B型0人 インフルエンザ3人 (治療証明より)】
咽頭結膜熱 1人
溶連菌感染症 1人